

広報ほんべつ

# 本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ  
HONBETSU

2020  
December  
No.1106

12月

表紙 「勇足小学校学習発表会」  
2年生の器楽



Pick up

- ✿ この冬の新型コロナウイルス感染症対策
- ✿ 本別のだいどころ
- ✿ 本別高校を知るための集い

# 新型コロナウイルス感染症予防対策

「この冬を安心して乗り越えていくために」

気温が下がりがり暖房機の使用が増え、乾燥や換気不足によりさまざまな感染症の流行期となる冬季。これから年末年始休みに向け人の集まる機会の増加が予想され、町民の皆さんには、新型コロナウイルス感染症を含め感染防止のための取り組みをお願いします。また、これまでの感染状況をもとに国が示している、感染リスクが高まる「5つの場面」と「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」に留意し、感染防止対策を徹底しましょう。



## 感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫

### ★ 飲食店の利用者に気を付けて欲しいこと

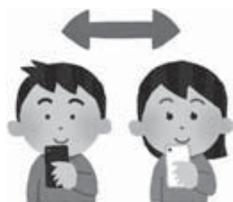
1. 飲酒するのであれば → ① 少人数、短時間で  
② なるべく普段一緒にいる人と  
③ 深酒・はしご酒などは控え、適度な酒量で
2. 箸やコップは使い回さず、一人ひとりで
3. 座る位置は正面や真横は避けて、斜め向かいに
4. 会話するときはなるべくマスク着用  
(マウスシールドはマスクより効果が弱いので注意)
5. 体調が悪い人は参加しない
6. 換気が適切なガイドラインを遵守したお店を選ぶ



### ★ お店側～ガイドラインの遵守のお願い

1. 従業員の体調管理やマスク着用、席の配置、換気など効果的な対策を行う
2. 利用者にも感染予防策の遵守や新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)の活用を働きかける

※従業員に感染者が出た飲食店で、ガイドラインの遵守や適切な換気、席の間隔も開けていたことから、100人を超える利用客からの感染者が出なかった事例があります



### ～その他、飲食以外でも引き続き守ってほしいこと～

- ・基本はマスク着用や三密を避けること
- ・室内は換気を充分行う
- ・集まりは少人数、短時間に
- ・大声を出さず、会話は静かに行えるよう工夫する
- ・多くの人が共同で使う場所(手すり、ドアノブ等)の清掃、消毒の徹底
- ・手洗い、アルコール消毒の徹底



## 感染リスクが高まる5つの場面

### 場面1 飲食を伴う懇親会など

・飲酒で気分が良くなると普段より大きな声で話したり、注意力が低下する  
・狭い空間で長時間、大人数が滞在する  
・回し飲み、箸の共用など



### 場面2 大人数や長時間に及ぶ飲食

・長時間に及ぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒は短時間の食事よりもリスクが高まる  
・大人数の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなる



### 場面3 マスクなしでの会話

・マスクなしで近距離の会話をすることで飛沫感染等の危険性が高まる  
・屋ラオケなどマスクなしでの発生による感染例がみられている  
・車、バスの移動でも注意が必要



### 場面4 狭い空間での共同生活

・寮の部屋やトイレなど共用部分の感染が疑われる事例がみられる



### 場面5 居場所の切り替わり

・仕事での休憩時間に入り、気が緩むため、更衣室や喫煙所、休憩室などで感染する事例がみられている



問い合わせ

本別町新型コロナウイルス感染症対策本部  
事務局：本別町健康管理センター ☎ 22-2219

令和元年度版

# わがマチ マイタウン本別のだいたいどころ

### このように使われました!

令和元年度の各会計の決算状況がまとまりました。皆さんから納めて頂いた大切な税金や国・道からのお金などが、どのように入ってきて(歳入)、どのように使われたか(歳出)、また、今の本別町には財産や預金、借入金がどれくらいあるのかを、表や豆グラフを使ってできるだけわかりやすくお知らせしたいと思います。

## 一般会計の 決算状況



### 歳出 総額 73億6,580万円

町民1人当たり 109万7,735円

### 歳入 総額 74億9,549万円

町民1人当たり 111万7,063円

- 衛生費 11億3,600万円** (1人当たり 16万9,300円) **15.4%**  
保健事業やゴミ処理など、健康と衛生的な環境を維持するために使われるお金です
- 民生費 10億9,462万円** (1人当たり 16万3,133円) **14.9%**  
児童や高齢者福祉の推進、社会福祉充実のために使われるお金です
- 総務費 10億1,885万円** (1人当たり 15万1,840円) **13.8%**  
町の企画や防災、造成、選挙、庁舎の維持管理、放送・通信の整備などに使われるお金です
- 土木費 9億1,242万円** (1人当たり 13万5,979円) **12.4%**  
道路の改良や維持、公営住宅の建設や管理などに使われるお金です
- 公債費 6億6,239万円** (1人当たり 9万8,717円) **9.0%**  
事業を行うために借りたお金の返済に使われるお金です
- 農林水産業費 4億2,202万円** (1人当たり 6万2,894円) **5.7%**  
農業・林業の発展のために使われるお金で、農林道の整備、農業用施設・機械購入などに使われるお金です
- 教育費 3億8,579万円** (1人当たり 5万7,495円) **5.2%**  
小学校・中学校での教育や社会教育(学校教育以外の教育)などに使われるお金です
- 消防費 2億9,290万円** (1人当たり 4万3,651円) **4.0%**  
火災の予防活動や火災現場での消火活動、人命救助や傷病者の救急搬送等、消防活動に使われるお金です
- 商工費 2億2,492万円** (1人当たり 3万3,520円) **3.1%**  
商工業の発展・振興などに使われるお金です
- その他 4,485万円** (1人当たり 6,684円) **0.6%**  
議会の運営、勤労者対策、災害復旧などに使われるお金です
- 職員費 11億7,104万円** (1人当たり 17万4,522円) **15.9%**  
職員の給料などに使われるお金です

- 38.0%** 地方交付税 28億4,884万円 (1人当たり 42万4,567円) 7ページに掲載しています
- 13.5%** 国・道支出金 10億869万円 (1人当たり 15万326円) 国や道から入ってくる使い道の決まっているお金です
- 10.2%** 町債 7億6,654万円 (1人当たり 11万4,238円) 町が事業を行うために借り入れたお金で、いわゆる借金のことです
- 1.9%** 地方譲与税 1億4,543万円 (1人当たり 2万1,674円) 自動車重量税など、徴収の利便性から一旦国税として徴収された後、市町村に一定の基準により譲与される税金です
- 2.3%** その他 1億7,384万円 (1人当たり 2万5,908円) 交通安全対策特別交付金や地方消費税交付金など、国や道から交付されるお金です
- 13.1%** 町税 9億7,778万円 (1人当たり 14万5,720円) 町民の皆さんに納めて頂いた税金のうち、直接、町に入る税金で、町民税・固定資産税などです
- 11.9%** 繰入金 8億9,142万円 (1人当たり 13万2,849円) 貯金(基金)を取り崩したお金です
- 3.2%** 諸収入 2億4,260万円 (1人当たり 3万6,155円) 貸付金元利収入や介護保険収入、貯金利子などのお金です
- 2.1%** 寄付金および財産収入 1億5,531万円 (1人当たり 2万3,146円) 町民の皆さんから頂いた寄付金や、財産運用(土地の貸し付けなど)などによるお金です
- 1.9%** 繰越金 1億4,076万円 (1人当たり 2万9,978円) 前年度に残ったお金です
- 1.7%** 使用料および手数料 1億2,896万円 (1人当たり 1万9,219円) 公共施設の使用料や役場で発行する証明書類の発行手数料などです
- 0.2%** 分担金および負担金 1,532万円 (1人当たり 2,283円) 農家の人が納める土地改良などの受益者分担金、老人ホーム入所負担金や保育料などです

町民1人当たりは、令和2年3月末人口 6,710人で算出しております。

地方譲与税のうち、森林環境譲与税は、令和元年度より国から市町村および都道府県に対し譲与が開始されています。用途については法令で定められており、森林整備や担い手対策、木材利用の促進や普及啓発等に関する費用に充てることができます。本別町では令和元年度は森林環境譲与税基金に積み立てています。

豆のマチくんべつだから(豆さやグラフ)

# 地方交付税

地方交付税は、国から交付される町の大きな収入源となっています

地方交付税は、法に基づき交付されるものです。うち普通交付税が、右のトラ豆グラフの通り町の重要な収入になっています。

- さて、普通交付税がどのように計算されるかという、全国的に標準となる町のモデルを作る
  - このモデルの必要な経費を計算する
  - 本町分は、このモデルの経費を補正して計算する
  - 算出された経費総額から本町の収入を差し引く
- このように計算したものが、町の普通交付税収入です。

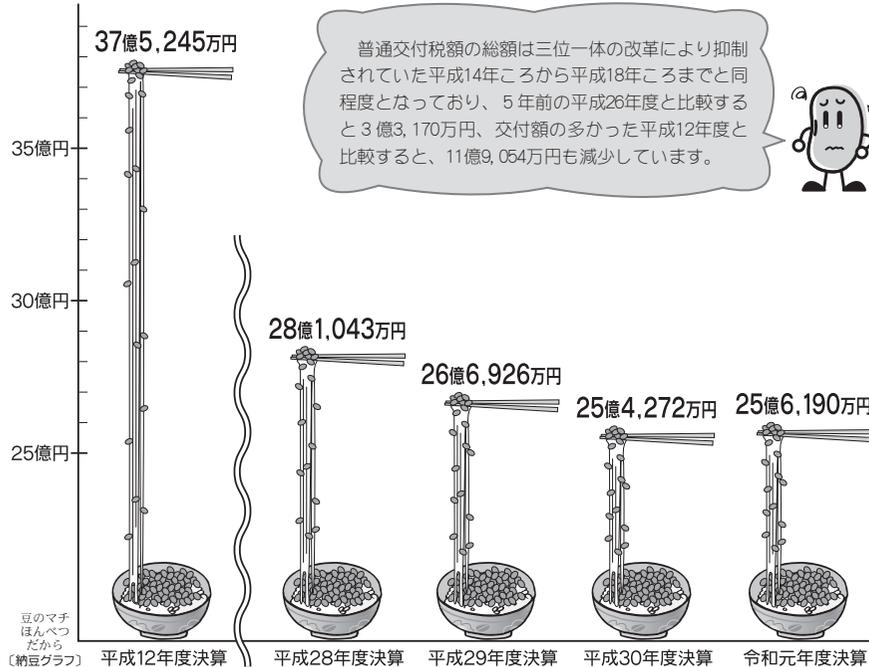
地方交付税には2種類あります

地方交付税には、普通交付税と、特別交付税があります。大きなものが普通交付税で、特別交付税は、災害があった時など特殊な事情に対して交付されます。

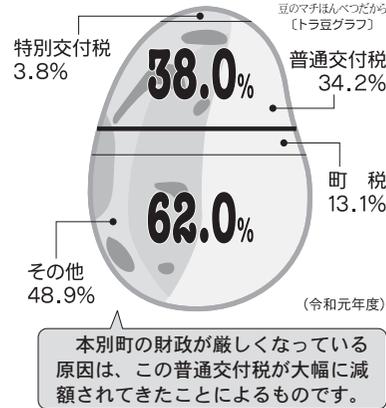
国の財政事情や政策が普通交付税に反映

普通交付税は、国税（所得税・酒税・法人税・消費税・たばこ税）収入の一定割合により交付されますが、景気の落ち込みによる税収不足により、国債の発行など、その他の財源も使って交付されています。従って、国の財政事情や政策が普通交付税交付額に大きく反映されます。どのように普通交付税が推移してきたかは、下の納豆グラフの通りです。

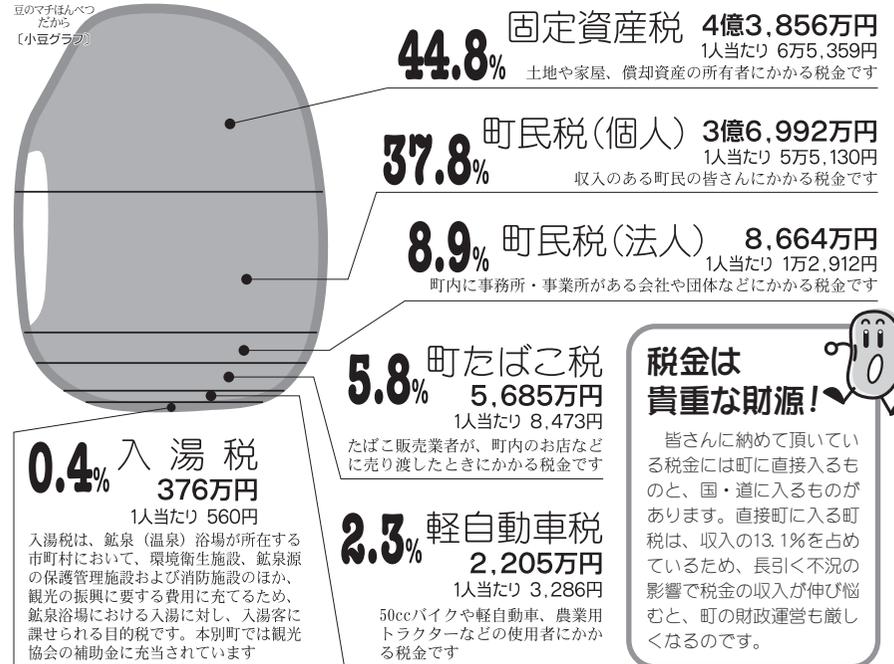
## 普通交付税の推移



## 歳入に占める地方交付税



# 町税の内訳



税金は貴重な財源!

皆さんに納めて頂いている税金には町に直接入るものと、国・道に入るものがあります。直接町に入る町税は、収入の13.1%を占めているため、長引く不況の影響で税金の収入が伸び悩むと、町の財政運営も厳しくなるのです。

# 一般会計の財産および預金等の状況

町にも預金があるんです

町も皆さんの家庭と同じように、余裕のあるときには預金を積み立てて、大きな事業を行うときにやりくりが苦しくならないようにしています。

### 財産の状況

公有財産土地	1,532ha
公有財産建物	10万5,995㎡
山林	1,286ha
有価証券および出資金	7,423万円
車両	77台

豆辞典

財政調整基金：町の財源を調整するための預金  
減債基金：借入金の返済に充てるための預金

### 預金(基金)等の状況

基金等の種別および目的	令和元年度末現在高
積立基金	
財政調整基金	8億280万円
減債基金	4億9,221万円
特定目的基金	
福祉の充実	3億2,388万円
産業の振興	2億3,257万円
教育・文化・スポーツの振興	1億3,554万円
その他	7億4,984万円
定額運用基金	
土地開発	2億1,037万円
その他	8,449万円
合計	30億3,170万円

## 令和元年度 主な事業

～一般会計分～



地域資源を生かした  
豊かなまちづくり

新規就農者等支援事業	事業費 4,096万円
受益者負担 49.0% 農業振興基金 51.0%	
地域林政支援活動事業	事業費 495万円
一般財源 100.0%	
町有林造林事業	事業費 1,972万円
国・道補助金 38.1% 企業助成金 1.3% 一般財源 60.6%	

生涯を通じて学び  
豊かな心を育むまちづくり



英語科選任講師派遣事業	事業費 333万円
一般財源 100.0%	
体力増進センター器具更新(フリーウエイト器具)	事業費 50万円
一般財源 100.0%	
勇足地区公民館備品更新	事業費 186万円
一般財源 100.0%	

### 「ともに学び支えあい

活力のあるまちづくり」を目標として

町では、まちづくりの長期計画として、第6次総合計画(平成23年度～令和2年度)を定め、分野項目に分類して各種事業を実施しています。



快適でやさしさのある  
まちづくり

空き家住宅等除却支援事業	事業費 453万円
国・道補助金 50.0% 一般財源 50.0%	
栄町団地公営住宅建替事業	事業費 5,190万円
国・道補助金 37.7% 借入金 46.4% 一般財源 15.9%	

ともに支えあい安心・安全に  
暮らせるまちづくり



介護人材確保対策事業	事業費 644万円
一般財源 100.0%	
防災行政無線更新事業	事業費 1億5,400万円
借入金 100.0%	



## 特別会計・企業会計の決算状況



### 企業会計

	歳入	歳出
国民健康保険	13億7,106万円	12億3,705万円
病院事業会計	6,252万円	9,950万円
水道事業会計	1億5,832万円	1億5,384万円
	4,019万円	1億344万円

### 特別会計

	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	11億6,270万円	11億4,300万円
後期高齢者医療特別会計	1億3,762万円	1億3,734万円
介護保険事業特別会計	10億2,758万円	10億1,542万円
介護サービス事業特別会計	2億9,910万円	2億9,797万円
簡易水道特別会計	1億2,619万円	1億2,349万円
公共下水道特別会計	4億6,724万円	4億6,309万円

町では事業を効率よく運営していくために、大きく3つの財布(会計)に分けています。一般会計は、町政を運営するための中心的な経理をするための財布。特別会計は特定の収入・支出を他のものと区別して経理するための財布。企業会計は、一般会計・特別会計とは全く違い、独立採算制を基本としているので、民間の会社のような会計になっています。



**一般財源**：何にでも使えるお金で、例えば町税・地方交付税などです  
**収益的収支**：事業活動に伴い発生が予定されるすべての収益と費用のことです  
**資本的収支**：将来の事業活動に備えて行う建設改良および建設改良にかかる企業債償還金などの支出とその財源となる収入のことです



スクールバス車両購入

## 一般会計の借入額

借入金(町債)の状況

借入の目的	令和元年度借入額
道路・橋梁事業	1億4,760万円
車両購入(スクールバス)	1,640万円
消防車両購入(水槽付消防ポンプ自動車)	5,040万円
公営住宅建設	2,410万円
営農用水事業	1億1,490万円
農地耕作条件改善事業	1,660万円
道営防災減災事業	1,690万円
特定間伐等促進対策事業	780万円
防災行政無線整備事業	1億5,400万円
過疎地域自立促進特別事業	9,360万円
臨時財政対策債	1億2,424万円
合計	7億6,654万円



### なぜ借入金(町債)をするの?

町で行う大きな事業には、国からの同意を受けてお金を借りるものがあります。当然その年度の収入だけでは足りないから借りるのですが、また違った意味もあります。皆さんが納めた税金などを使って10年、20年かけて借入金を返済していくことにより、長く使われる施設は、「使用する世代みんなで負担しよう」という意味もあります。

そして、返済金の一部を国が負担してくれる有利な借り入れを選択したり、以前に借りた利率の高いものを現在の利率の低いものに借り換えたりして、町の負担が少しでも小さくなるようにやり繰りをしています。



防災行政無線整備事業

## マチの借入金現在高 (令和元年度末)

総額 120億249万円

町民1人当たり 178万8,747円

	内 訳	金 額	町民1人当たり	
一般会計	道路新設改良舗装	7億9,410万円	11万8,346円	
	農林道および農業基盤整備	8億2,236万円	12万2,557円	
	学校建設および改築	4億9,472万円	7万3,729円	
	公営住宅建設および改良	6億8,576万円	10万2,200円	
	災害復旧	4,579万円	6,824円	
	その他	18億1,513万円	27万511円	
	臨時財政対策債	26億6,057万円	39万6,508円	
	小計	73億1,843万円	109万675円	
	特別会計・企業会計	病院建設および医療器械購入	7億6,065万円	11万3,361円
		簡易水道	5億5,360万円	8万2,504円
公共下水道		24億3,765万円	36万3,286円	
上水道		9億3,216万円	13万8,921円	
小計	46億8,406万円	69万8,072円		
【参考】債務負担行為(一般会計)		11億2,919万円	16万8,285円	

### 借入金って、あとどれくらい残っているの?

特定の収入で運営される特別会計や企業会計を除く、令和元年度末の現在高は73億1,843万円で、町民1人あたり約109万円となっています。

地方交付税などの収入が大きく落ち込んでいることから、いっそうの経費節減などを実施して今後の返済計画を立てています。

※債務負担行為とは～1つの事業が単年度で終了せず、翌年度以降も支出が必要なもの

見て! 聞いて!  
知って! えて!  
応援して!

# 本別高校を知るための集い

伝統ある本別高校を町全体で応援しようと、本別高校を知るための集い(町、町教育委員会、本別高校の教育を考える会主催)が10月20日、中央公民館で開催されました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染防止対策や参加者を限定した中で行われ、町内の中学3年生やその保護者、教職員など約50人が参加しました。高橋正夫町長があいさつで、「18歳の春までは親元で兄弟や家族と一緒に過ごし、人への思いやりや社会のことを教えながら育てあげてほしい。そのために、何としても本別高校を守っていききたい。そして今日は、皆さんが本別高校の意義を再認識する場としていただきたい」と会場に呼び掛けました。

続いて、近藤浩文本別高校校長より、学校行事や学習活動、進路状況について報告があった後、生徒代表の荒井美春さんと森原聖奈さんから、総合的な探求の時間について説明がありました。集いの最後には、山根博和本別高校の教育を考える会長が、「一人でも多くの子どもが本別高校に進学し、関係する皆さんが本別高校の応援団になっていただけたらと思います」と閉会のあいさつを述べ、会場全体で本別高校を応援する思いを一つにしました。

## 本別高校の取り組み



本別高校  
近藤 浩文 校長

本別高校の進路指導では、多様な希望に対応できる徹底した個別指導を実施しています。また、安心して安全な学校生活を保つため、一月に一回アンケート調査を行い、気になることがあればすぐに対応するようにしています。そして、本別高校の目玉として「とがち創生学」という探究活動があります。商品開発や町づくりの計画提案など、正解のない課題について学び・調べ・考えることで、これからの社会を生きていく上で必要な資質・能力を養うことができます。

本別高校は常に全員が主役です。皆さんの大切なお子さまを本別高校に送っていただき、希望する進路を実現していただきたいと思います。



説明を聞く参加者



とがち創生学を説明する荒井さんと森原さん

## とがち創生学の成果を発表!

本別高校でとがち創生学成果発表会が、1年生は10月20日、2年生は11月11日にそれぞれ行われました。

1年生は、本別町の豆を使ったスイーツレシピの考案に取り組み、夏休み中に一人ひとりが考えた167点のレシピからタルトやカップケーキなど7点を選出。その後、7つのグループに分かれ、町内の菓子店松月堂や町学校給食共同調理場などの協力を得て試作を重ね、独創的なスイーツが出来上がりました。

2年生は、6つのグループに分かれて、地域の課題などに対する解決策の提案に取り組みました。課題の分析やアンケート調査を、町職員をはじめとしたコーチと一緒に考えながら実施したことで、観光・福祉・情報発信といった課題に対して、高校生ならではの解決策が生まれました。

発表会当日は、保護者や町内関係機関の職員らが来場し、生徒たちはパワーポイントを活用して、グループごとに探究活動の成果を発表しました。



## 令和2年度 町民植樹祭

令和2年度の町民植樹祭が10月31日、新生地区の町有林で開催されました。



この取り組みは、森林の持つための公益的機能を持続的に発揮させるための普及啓発を図るとともに、多くの人たちに親しまれる森林づくりを推進するため開催しており、例年は春に実施していましたが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で冬を迎えるこの時期に延期しての実施となりました。

当日は、一般のほか、町自治会連合会や本別町林業グループなどから60人が参加。開会式で高橋正夫町長が「植樹し森をつくるのが川や海などの地球環境を守ることにつながります。周りの木に負けないよう一本ずつを丁寧に植えましょう」とあいさつし、記念植樹を行った後、用意されたカラマツやサクラ、イタヤカエデの苗木など510本を植樹しました。参加者たちは、スコップを使って穴を掘り、苗を入れて丁寧に土をかぶせて、大きく育ちますようにと願いを込めて植えました。



今後の植樹祭のために種まき



記念植樹

### 森林の持つ

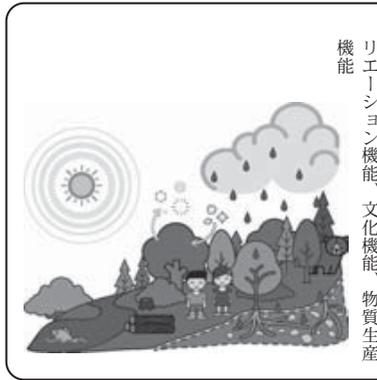
#### 公益的機能(多面的機能)

森林は、土砂災害等を防止し、渇水や洪水を緩和しながら、良質な水をはくむ機能、生物が天敵から身を守り生態系を守る機能などがあります。その他、私たちの社会活動において地球温暖化が問題となっている中、森林が二酸化炭素を吸収・固定・貯蔵する働きにより、地球温暖化を防止する役割があります。

このように森林には私たちが安全で快適な生活を送るために欠かせない多くの役割があり、これらの働きが「森林の有する公益的機能」と呼ばれています。

#### 「公益的機能」は全部です!

生物多様性保全機能、地球環境保全機能、土砂災害防止・土壌保全機能、水源かん養機能、快適環境形成機能、保健・レクリエーション機能、文化機能、物質生産機能



# HELLO 勇足中学校

## 勇足中学校 教育目標

- (知) 創造性豊かで高い知性を養う
- (徳) 豊かな人間性を育てる
- (体) 強靱で粘り強い体を鍛える

勇足中学校（椿原雅章校長：全校生徒20人）では、『学校で学び・家庭で育ち・地域で伸びる』をキーワードに地域・保護者の方々のご協力をいただきながら、小規模校の特性を生かした授業や学校行事等、日々の教育活動に取り組んでいます。今年度は新型コロナウイルス感染症対策で各行事等の中止や変更などがありました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策で各行事等の中止や変更などがありました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策で各行事等の中止や変更などがありました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策で各行事等の中止や変更などがありました。

### ■ 農園苗植え



### ■ 全校リレー大会



### ■ 全校駅伝大会



### ■ 農園収穫



### ■ 修学旅行



運動会の代替として全校リレー大会・駅伝大会を行いました。また、修学旅行は行き先を道南方面へ変更して実施。文化祭は縮小し、意見発表・英暗発表・各学年発表・総合文化部発表・共同制作（切り絵）に取り組みました。

### ■ 文化祭



陶芸



お茶席コーナー



メイビ式編み物



手芸

## ほんべつ学びの日「夢風」事業 令和2年度 本別町文化祭

日ごろの文化活動の成果を披露する令和2年度本別町文化祭（町文化協会・町教育委員会主催）が11月1日から3日まで、中央公民館で開催されました。



書道



パッチワーク



生け花



絵画

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年行っていた「芸術発表会」は中止し、「作品展」と「お茶席コーナー」のみの開催となりました。3日間を通して行われた「作品展」では、手芸や生け花、絵画など、11団体2個人による計589点の個性あふれる作品が展示され、来場者の目を惹きつけていました。3日の文化の日には、本別町文化継承会・千歳会の子供たちによる「お茶席コーナー」も催され、お茶とお菓子で来場者をもてなしました。

## 令和2年度スポーツ賞授賞式

令和2年度スポーツ賞授賞式が11月3日、中央公民館で開催され、水泳の普及発展に尽力した及川哲夫さんが受賞しました。佐々木裕教育長が「永年にわたり地道な活動を続けられたご努力に敬意を表しますとともに、活動を支えられたご家族や関係する皆さまに深く感謝を申し上げます」と式辞を述べた後、及川さんに賞状と記念品を手渡しました。高橋正夫町長と高橋利勝町議会議長の祝辞に続き、及川さんが「この荣誉ある賞は関係各位のご指導とご支援のたまものであり、この受賞を契機により一層精進します」とお礼の言葉を述べました。



及川さんに賞状を授与



本別町スポーツ賞授賞式

## 子供たちが 元気いっぱい発表

11 14

勇足小学校（橋本知洋校長：36人）の学習発表会が11月14日、同校体育館で開催されました。今年は、新型コロナウイルス感染症対策で入場を一家庭2人までと、人数を制限しての実施となりました。「コロナに負けず 笑顔と感動、届けよう」をテーマに行われた発表会では、1～6年生の児童たちがダンスや劇、器楽などの演目に分かれ、日ごろの練習の成果を元気いっぱい披露しました。会場を訪れた保護者からは、子供たちの笑顔や頑張りにも惜しみない拍手が送られました。



## 6人の女性消防団員が 応急手当普及員の資格を取得

11 9

本別消防団女性消防団員応急手当普及員認定証交付式が11月9日、役場で行われ、6人の団員を代表して留田正記子さんに、上原章司本別消防署長から認定書が手渡されました。応急手当普及員とは、心肺蘇生法や気道異物除去などの普及啓発のため、救急講習の指導に従事できる資格です。6人の団員は、自動体外式除細動器（AED）の使用方法や心肺蘇生法などを計24時間の応急手当普及員養成講習で学び、最終日に効果測定を受け、認定されました。今後は、学校や事業所等の救急講習に向き、女性のきめ細やかな視点から救急講習の指導にあたる予定です。



## 読み聞かせと映画で読書の秋

10 17

全国読書週間（10月27日～11月9日）に向けた「ぶっくる一むこどもまつり」が10月17日、図書館で開かれました。これは、毎月第3土曜日に開催している「おはなしぶっくる一む」の拡大版として実施したもので、例年4月に開催している「としょかんこどもまつり」を新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期していたことから企画。この日は、図書館ボランティア「ぶっくる」の会員3人が大型絵本など5冊を読み聞かせした後、約50年前の映写機を使って16ミリフィルムアニメーション「泣いた赤鬼」を上映。参加した36人の親子らは、教科書でおなじみの作品をじっくりと鑑賞しました。



## 本別中学校3年の 岡本さんが一日警察署長に

10 13

全国地域安全運動（10月11日～10月20日）期間中の10月13日、本別警察署一日警察署長委嘱式が同署で行われ、今年度の防犯ポスター公募で最優秀賞を受賞した本別中学校3年の岡本小塔音さんに、松岡弘司署長から委嘱状が手渡されました。委嘱式後には街頭啓発として、警察官の服を着た岡本さんが、町内のスーパー前で特殊詐欺や交通事故の防止などを呼び掛けるチラシを買い物に訪れた人へ配布。その後には、町内の高齢者宅を訪問して電話機診断を行い、振り込め詐欺の被害に遭わないよう自動留守番電話に設定するなど、注意を呼び掛けました。



## 新規採用職員の紹介

10月1日付け新採用となった職員を紹介します

10月より農林課で主に耕地整備を担当しています。大学を卒業して7年間、土木設計の仕事をしておりましたが、ご縁があって本別町にやってきました。趣味はプラモデル作りです。これから本別町のことを勉強し、皆さんのお役に立てるよう頑張りますのでよろしくをお願いします。

帯広市出身 29歳



農林課 林務・耕地整備担当 技師 **やぶ ひろ** **やぶ 純也**

## ライオンズクラブが60周年を祝う

10 25

1960年に結成された本別ライオンズクラブ（桑田達一会長）の創立60周年式典が10月25日、会員やその家族など41人が出席し中央公民館で開催されました。同クラブは、設立以来、会員一丸となり友愛と相互理解の精神で奉仕活動を続けてきました。式典では、物故者の追悼を行った後、式典の大会長である桑田会長が「60周年を契機として、伝統と格式を胸に更なる未来に向け進んでいきます」と式辞を述べ、記念アクティビティとして町に寄贈した本別交通公園用バッテリーカー1台の目録を高橋正夫町長へ手渡しました。また、この10年間にご尽力いただいた歴代会長8人に感謝状を贈り、60年の節目を祝いました。



# 国民年金

ご存知ですか？  
国民年金の  
任意加入制度

その224

65歳から受けられる老齢基礎年金は、20歳から60歳までの40年間国民年金保険料を納めることで、満額（令和2年度は781700円）を受け取ることができますが、やむを得ない事情により国民年金保険料を納められなかった期間や、国民年金に加入していなかった期間があると、その期間に応じた年金額が少なくなってしまう。

60歳になられた人で、受給資格期間（10年）を満たしていない場合や満額受給できる40年の納付期間に満たないため、年金額の増額を希望する人は、国民年金に任意で加入することができます。

〔任意加入できる人〕

- ・年金額を増やしたい人（納付月数が480月未満の人）
- ・60歳から65歳までの間

〔手続先〕

役場住民課戸籍年金担当窓口または帯広年金事務所

〔手続きに必要なもの〕

- ・年金手帳または基礎年金番号通知書
- ・預貯金通帳と通帳の届け出印
- ・マイナンバーが分かるもの
- ・本人確認書類（運転免許証等）

〔注意事項〕

- ※国民年金保険料は、月額16540円（令和2年度）です
- ※納付方法は原則口座振替となります
- ※申し出のあった月からの加入となり、さかのぼって加入することはできません

帯広年金事務所  
☎0155-251-8113  
☎022-812128  
日本年金機構のホームページは  
<https://www.nenkin.go.jp/>





# 本のある暮らし

237

## 本別高校生が挑戦！ インターンシップ

### 戸籍のまど

#### お誕生

10月後半から  
11月前半の  
届出分

岸上大蔵たい さいくん 裕哉ゆう ざい 10/23 柏木町  
福家立深りゅう じん 立雄たて けん 10/23 朝日町  
牧田昊空もく だ 日明ひ てる 10/24 勇足東4  
池本望愛み ぞの 大輝おほ てる 11/7 柏木町

#### おくやみ

福井俊彦ふくい しゅん げん 86歳 10/14 南2丁目  
本寺勝正ほん じや 92歳 10/16 仙美里3  
小倉澄子こくら すみ 87歳 10/20 追名牛  
野原一二三の へら 96歳 10/22 栄 町  
赤間珪子あかま けい 84歳 10/24 向陽町  
佐藤タミさとう たみ 96歳 10/30 美里別東中  
中村輝久なかむら てるひさ 74歳 10/30 緑 町  
佐藤耕一さとう けい いち 89歳 11/1 東本別  
黒田武雄くろだ たけお 89歳 11/4 柏木町  
佐藤ヤ卫さとう やゑ 87歳 11/4 北2丁目  
牧野洋子まきの ひろこ 73歳 11/4 柳 町  
吉井福男よしかい ふくお 81歳 11/6 南4丁目  
岸田幸子きしだ ゆきこ 90歳 11/12 新 町

10月28日と29日に本別高校1年生の4人がインターンシップにやってきました。図書館といえば、な仕事から普段なかなか馴染みのないことまで、資料館の仕事も含めさまざまなことに挑戦してくれました。今回はその様子をお届けします。

#### ★ステージ1 よく見る仕事



お客さんに本を貸し出します



返却本も数が多いと大変です

#### ★ステージ2 記憶を活かして



小さい頃読んでいた本を思い出しながら  
学童・保育所に貸す本を選びます

#### 番外編 ~空襲の記録を残すために~



タコツボ(ミニ防空壕)跡を  
本別高校で掘り当てた！

#### ★ステージ3 こんな仕事も



皆で相談しながら…



本を紹介するPOPができました！  
(現在カウンター前に展示しています)

### わたしたちのまち

前月比  
人口 **6,761人(+3)**  
男 **3,315人(+7)**  
女 **3,446人(-4)**  
世帯数 **3,602戸(+2)**  
〔10月末日住民基本台帳〕

お問い合わせ先

### 本別町図書館

(愛称：ぶつくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112